

2008年2月18日

# 京セラの環境関連事業の展開

## － ソーラーエネルギー事業の戦略 －

代表取締役社長  
川村 誠

京セラ株式会社

---

## 本日のプレゼンテーション

**1. 京セラの事業展開**

**2. 2008年3月期 通期業績予想**

**3. 京セラの環境関連事業の展開**

**4. ソーラーエネルギー事業の戦略**

## 将来予想に関する注意事項

この配布資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

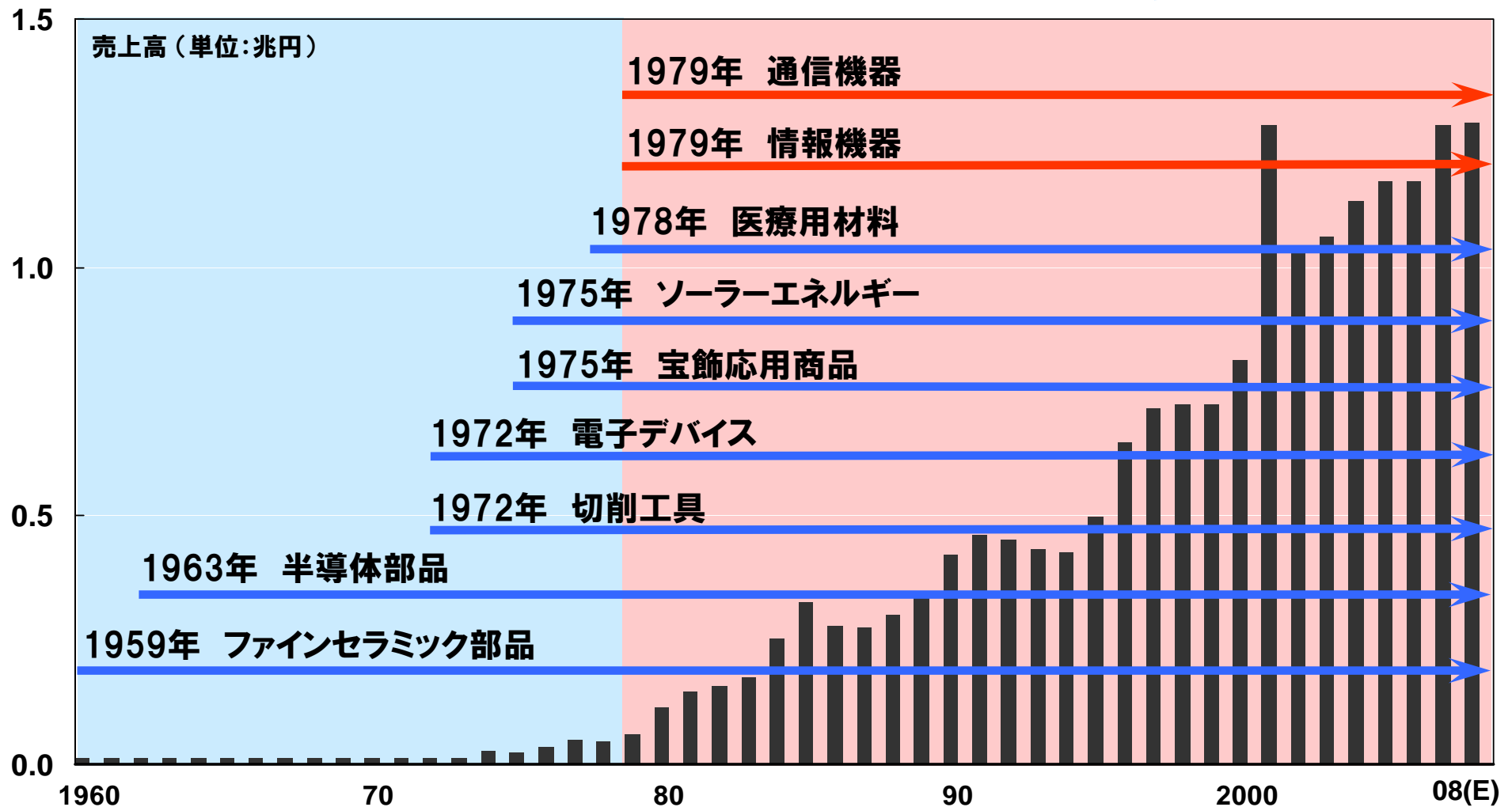
- (1) 当社が関連する市場の状況(特に、日本、米国、欧州及びアジア(中国を含む)の経済状況)。
- (2) 中国における経済・政治・法律面での条件の予測し得ない変化。
- (3) 競争の厳しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場における当社の、革新的な製品を開発・生産し、品質・納期を含めて、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力。
- (4) 生産高や業績に影響を与える社外委託工程や自社内製造過程で生じる遅れや不具合の発生。
- (5) 円高、政治的・経済的な不安定状態、輸出売掛金の回収の困難性、製品の価格競争力の低下、輸送経費の増大、海外事業所管理の問題、知的財産権の保護の不十分性等輸出に影響する可能性がある要素。
- (6) 当社の売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)と円との為替レート。
- (7) 技術力を有する科学・技術その他の分野の人材の不足。
- (8) 当社の機密保持及び特許等の知的財産権の保護の確保。
- (9) 当社製品を継続的に製造・販売する為に必要となるライセンスの安定的確保。
- (10) 生産及び開発能力の拡大、もしくは現在進行中の研究開発が期待される成果を生み出さない場合。
- (11) テロ行為、疾病の発生、その他当社の市場やサプライチェーンに混乱を与える可能性のある要素。
- (12) 当社の製造施設その他主要な事業関連施設がある地域における地震などの自然災害の発生。
- (13) 保有する有価証券その他の資産の時価の変動、減損処理の発生及び会計基準の変更。

かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開または財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示または包含される将来の業績、事業活動、展開または財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

# 京セラグループの事業展開と売上推移

技術の水平展開

技術の垂直統合

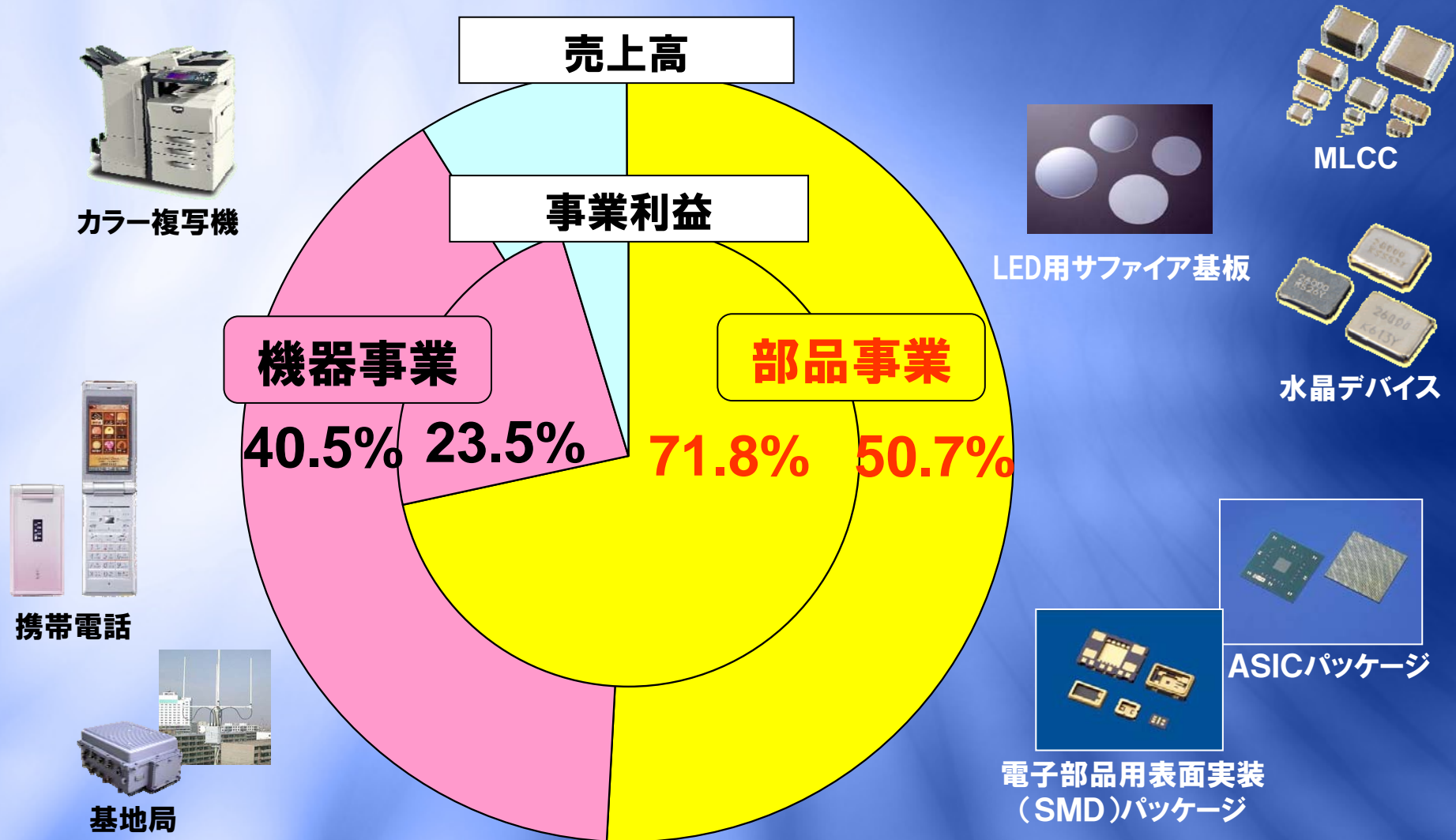


## 2008年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2007年3月期 実績		2008年3月期				前期比 増減率(%)
	金額	売上高比(%)	前回予想 (2007年10月)		今回予想 (2008年1月)		
			金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
<b>売上高</b>	1,283,897	100.0	1,330,000	100.0	<b>1,290,000</b>	<b>100.0</b>	<b>0.5</b>
<b>営業利益</b>	135,102	10.5	151,000	11.4	<b>140,000</b>	<b>10.9</b>	<b>3.6</b>
<b>税引前当期純利益</b>	156,540	12.2	166,000	12.5	<b>166,000</b>	<b>12.9</b>	<b>6.0</b>
<b>当期純利益</b>	106,504	8.3	103,000	7.7	<b>103,000</b>	<b>8.0</b>	<b>-3.3</b>
希薄化後1株当たり 当期純利益(円)	564.79	—	543.40	—	<b>543.33</b>	—	<b>-3.8</b>
<b>設備投資額</b>	69,896	5.4	81,000	6.1	<b>81,000</b>	<b>6.3</b>	<b>15.9</b>
<b>減価償却費</b>	70,155	5.5	79,000	5.9	<b>76,000</b>	<b>5.9</b>	<b>8.3</b>
<b>研究開発費</b>	61,100	4.8	65,000	4.9	<b>63,000</b>	<b>4.9</b>	<b>3.1</b>
平均為替レート	対ドル:117円	対ユーロ:150円	対ドル:115円	対ユーロ:156円	対ドル:115円	対ユーロ:161円	
為替の変動による 影響額(前期比)	売上高	396億円		-37億円		57億円	
	税引前 当期純利益	157億円		25億円		72億円	

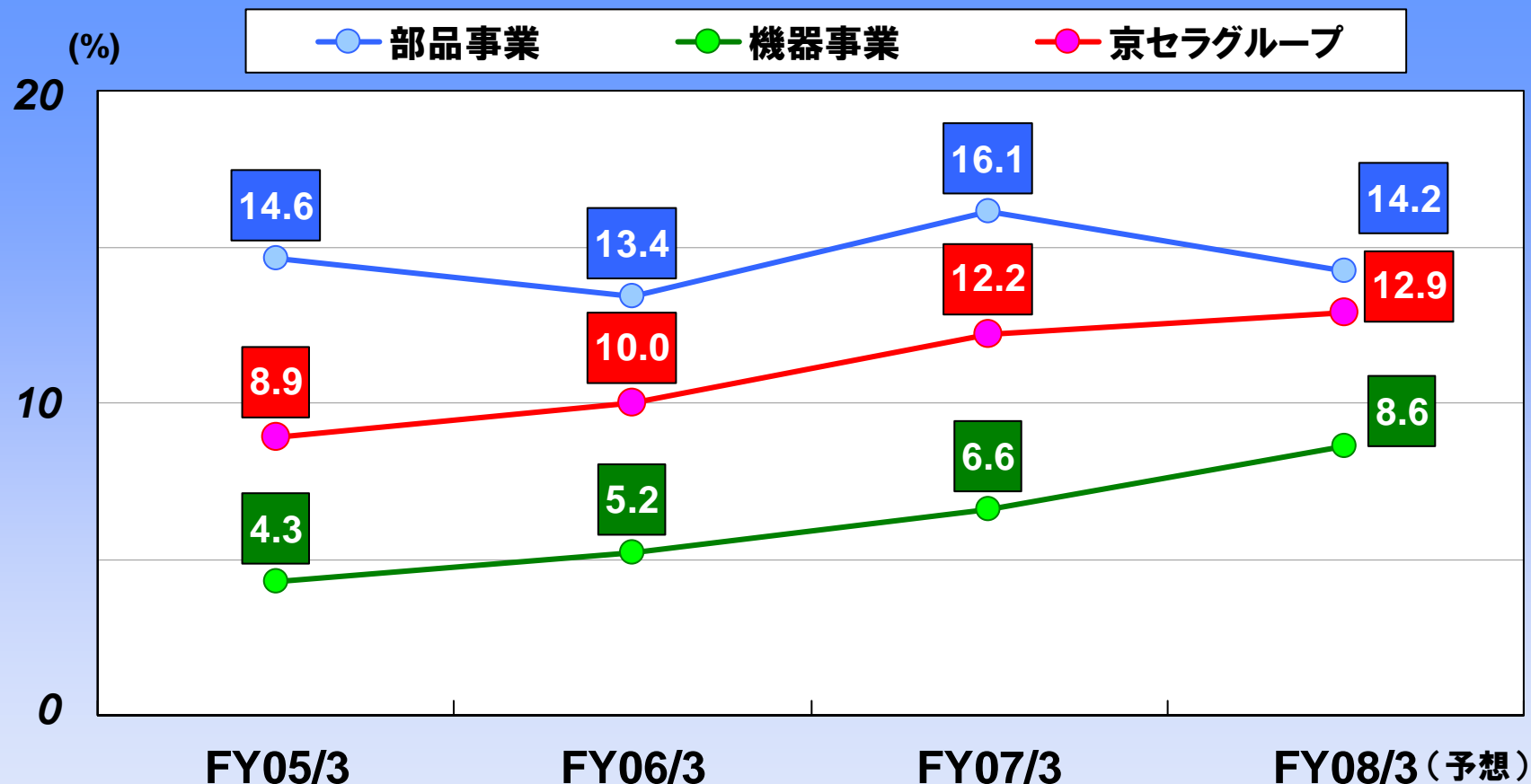
# 2007年3月期 売上高と事業利益の事業別比率



注)2008年3月期より、これまで独立した事業セグメントとして表示していた「光学機器関連事業」を「その他の事業」に含めて開示することとしました。

# 税引前利益率の推移

— 2005年3月期～2008年3月期（予想） —



**3期連続増益 / 京セラグループ税引前利益率12.9%（予想）**

注)2008年3月期より、これまで独立した事業セグメントとして表示していた「光学機器関連事業」を「その他の事業」に含めて開示することとしました。

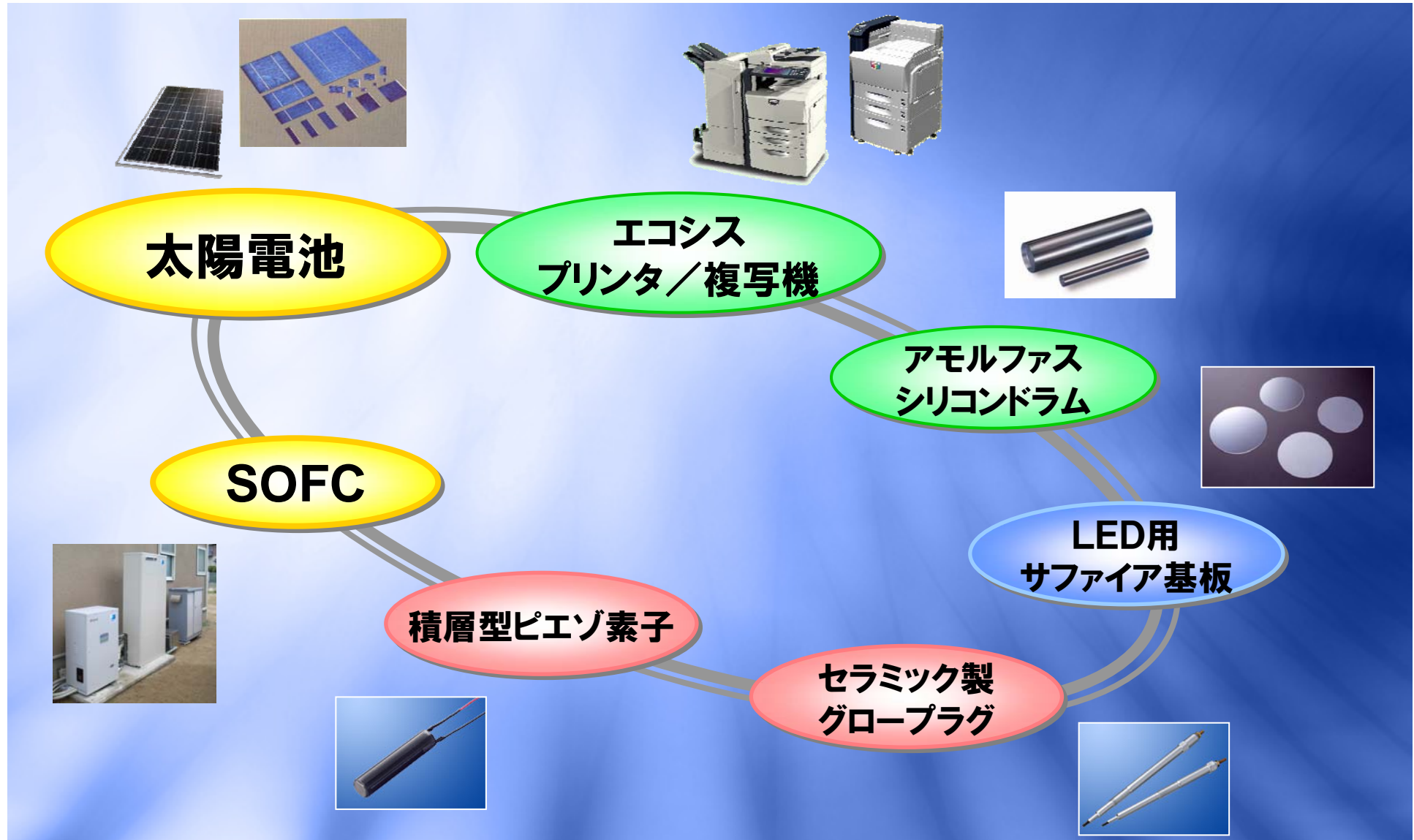
# 今後の重点市場

## 重点市場での新製品・新技術開発の促進





# 京セラの環境関連事業



## 京セラの環境関連部品の市場成長率

		市場成長率（年）
セラミック製グロープラグ		約45%
積層型ピエゾ素子		約30%
LED用サファイア基板		約15%
cf. 半導体		5～10%

## 京セラの環境関連製品の市場規模と成長率

	市場規模	成長率（年）
<b>プリンタ／複写機</b> 	約5兆円	10%
<b>太陽電池 (CY06)</b> 	約8,000億円*	20%~40%

\*株式会社大和総研推定 その他は京セラ予想

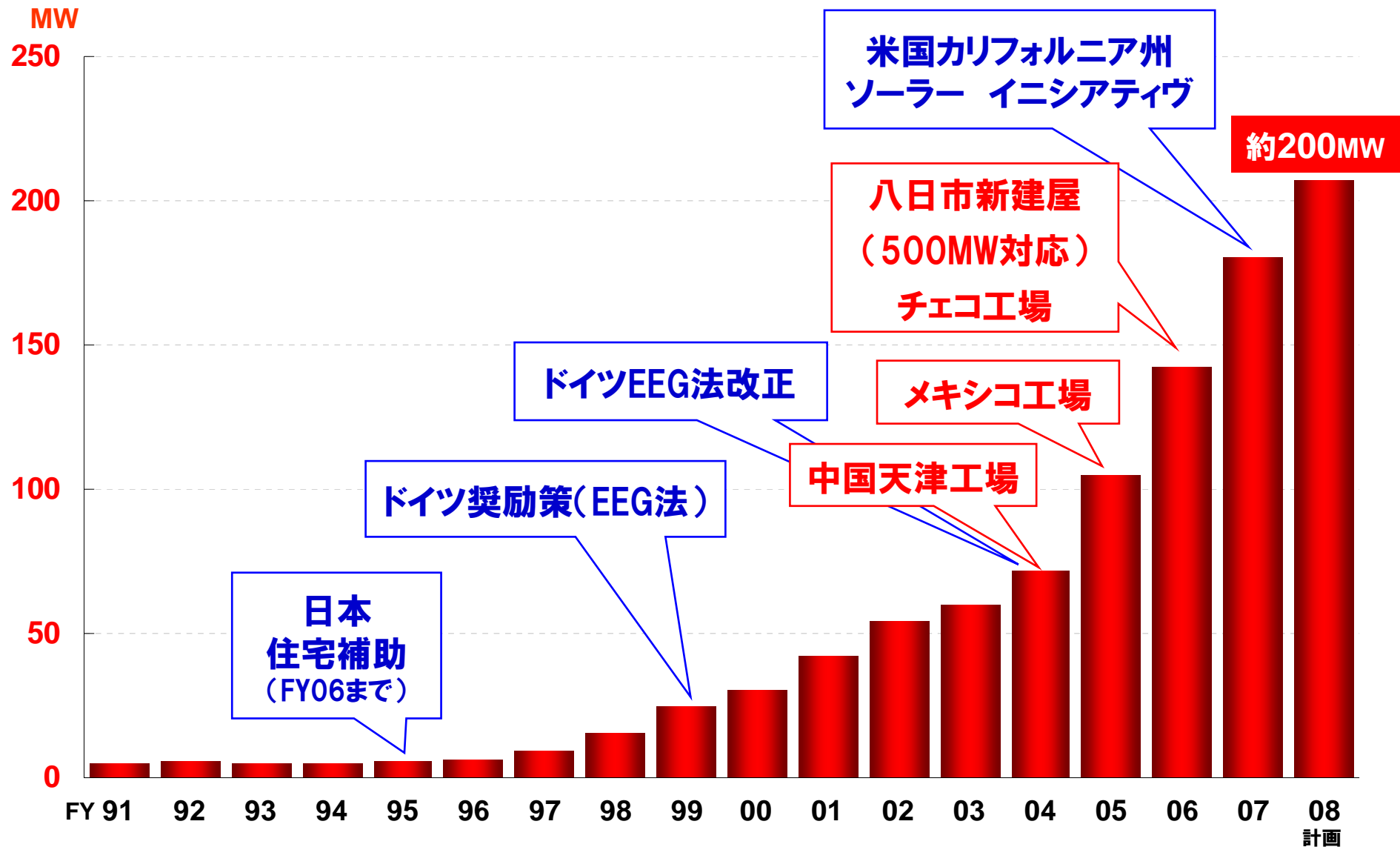
## 京セラのソーラーエネルギー事業の特徴

- 30年の歴史を持つリーディングカンパニー
- 現在主流の多結晶シリコン太陽電池世界初の量産\*1
- 多結晶シリコン方式で変換効率世界最高18.5%\*2
- 生産量世界第3位（CY2006）
- シリコンインゴットからモジュールまで一貫生産

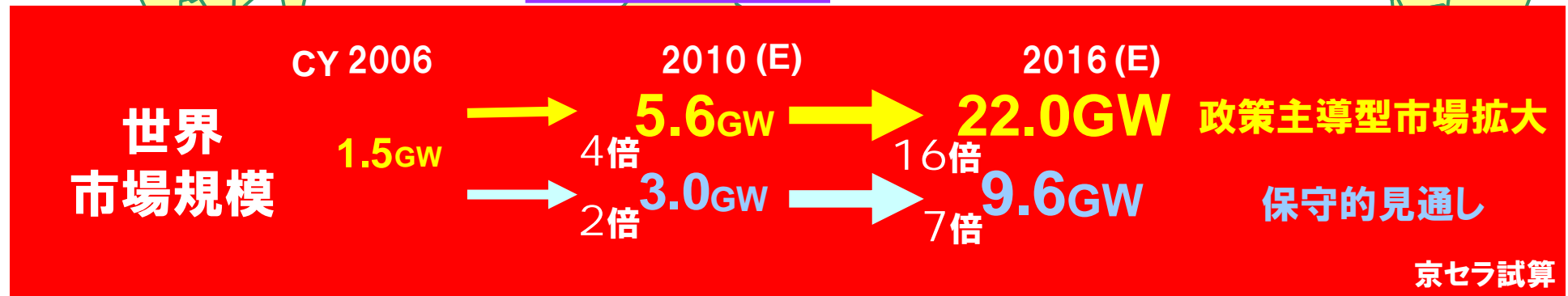
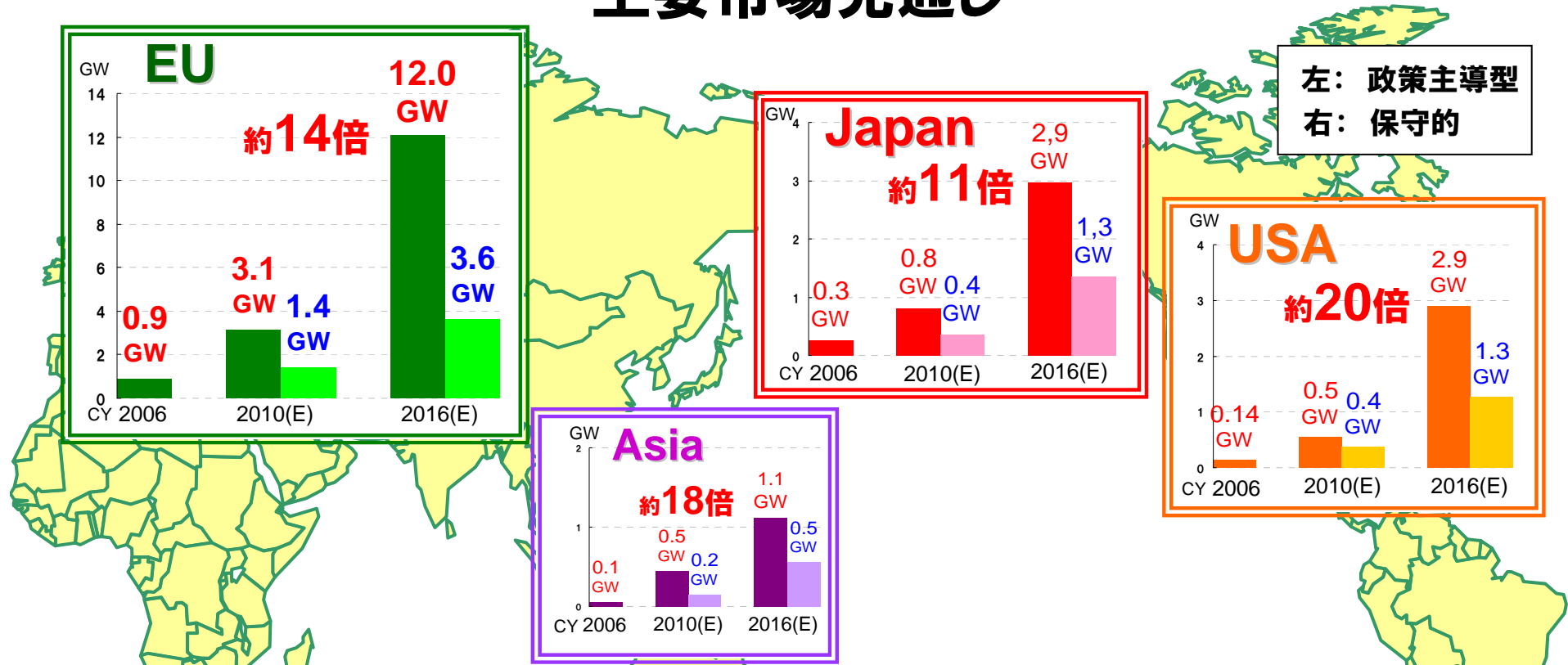
\*1 キャスト法

\*2 研究レベル 自社測定

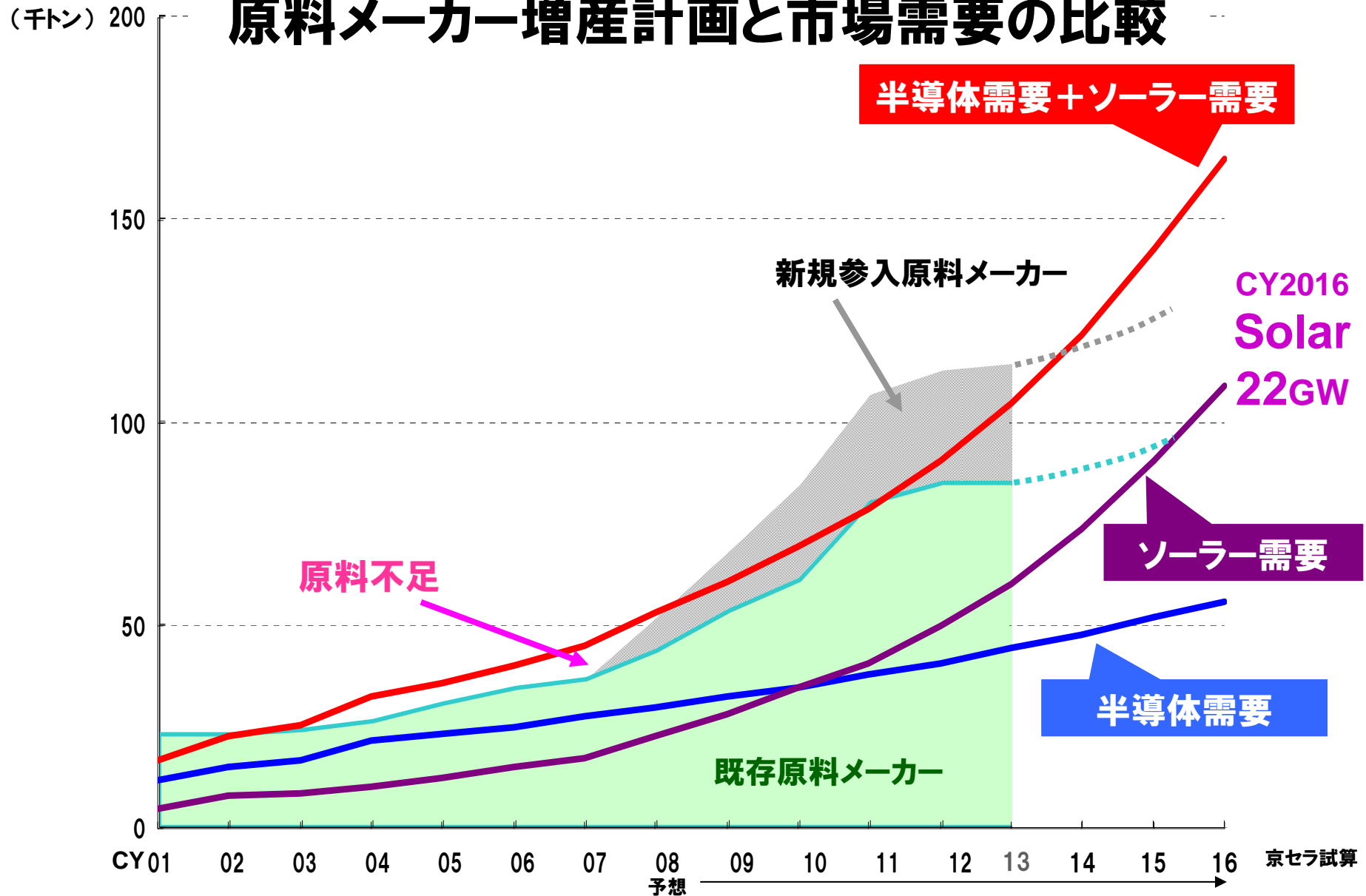
# 京セラの太陽電池生産量推移



# 主要市場見通し



# 原料メーカー増産計画と市場需要の比較



## 市場状況のまとめ

**補助政策拡大**

+

**原料増産**

||

**メーカー勃興**

欧州、米国、韓国、その他  
⇒ **継続的な成長市場**

既存メーカー増産 + 新規メーカー参入  
⇒ **供給面、価格面の安定化**

200~300社

**ドイツEEG\*法 フィードインタリフ買取金額見直し検討**

**減額率 5%/年 ⇒ 7~9%/年**

\*EEG= Erneuerbare-Energien-Gesetz  
再生可能エネルギー法

**「大競争時代」始まり**

**「コスト競争力(高効率化/生産性)・差別化商品開発力・品質力」 総合力の時代へ**



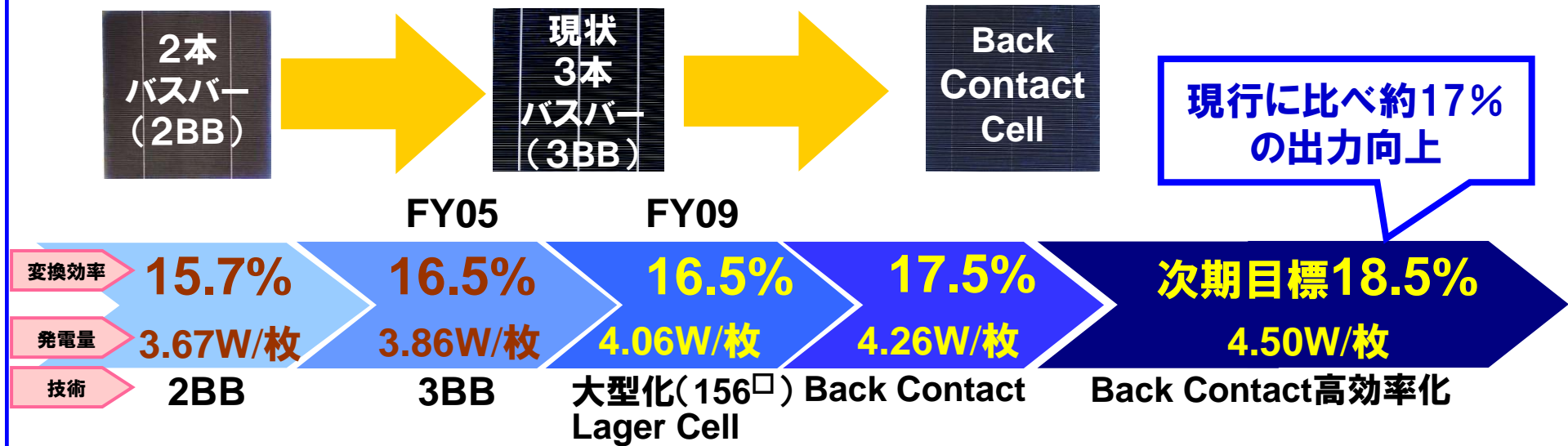
# コスト競争力(高効率化)



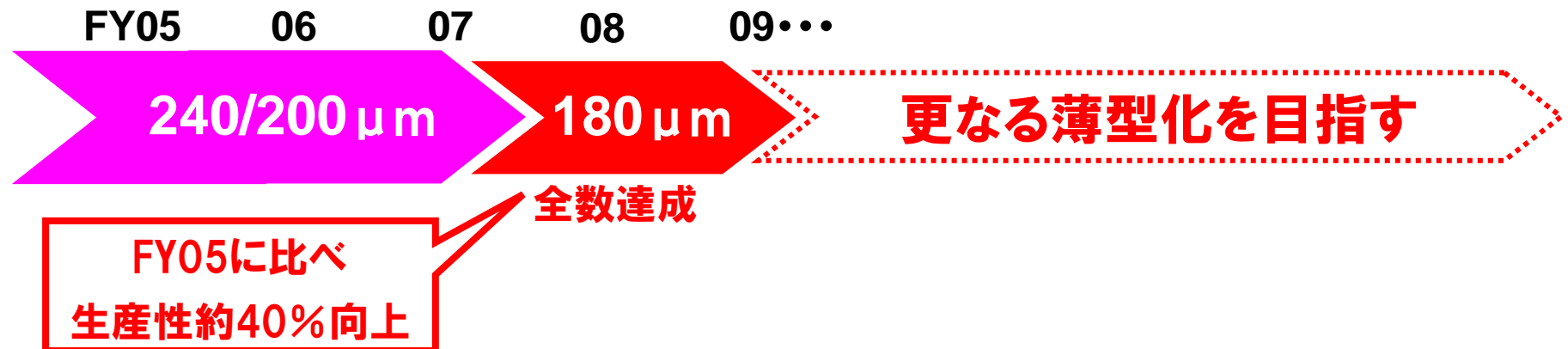
**一貫体制 ⇒ 全ての工程の最適化により高効率化を目指す**

# コスト競争力(生産性)

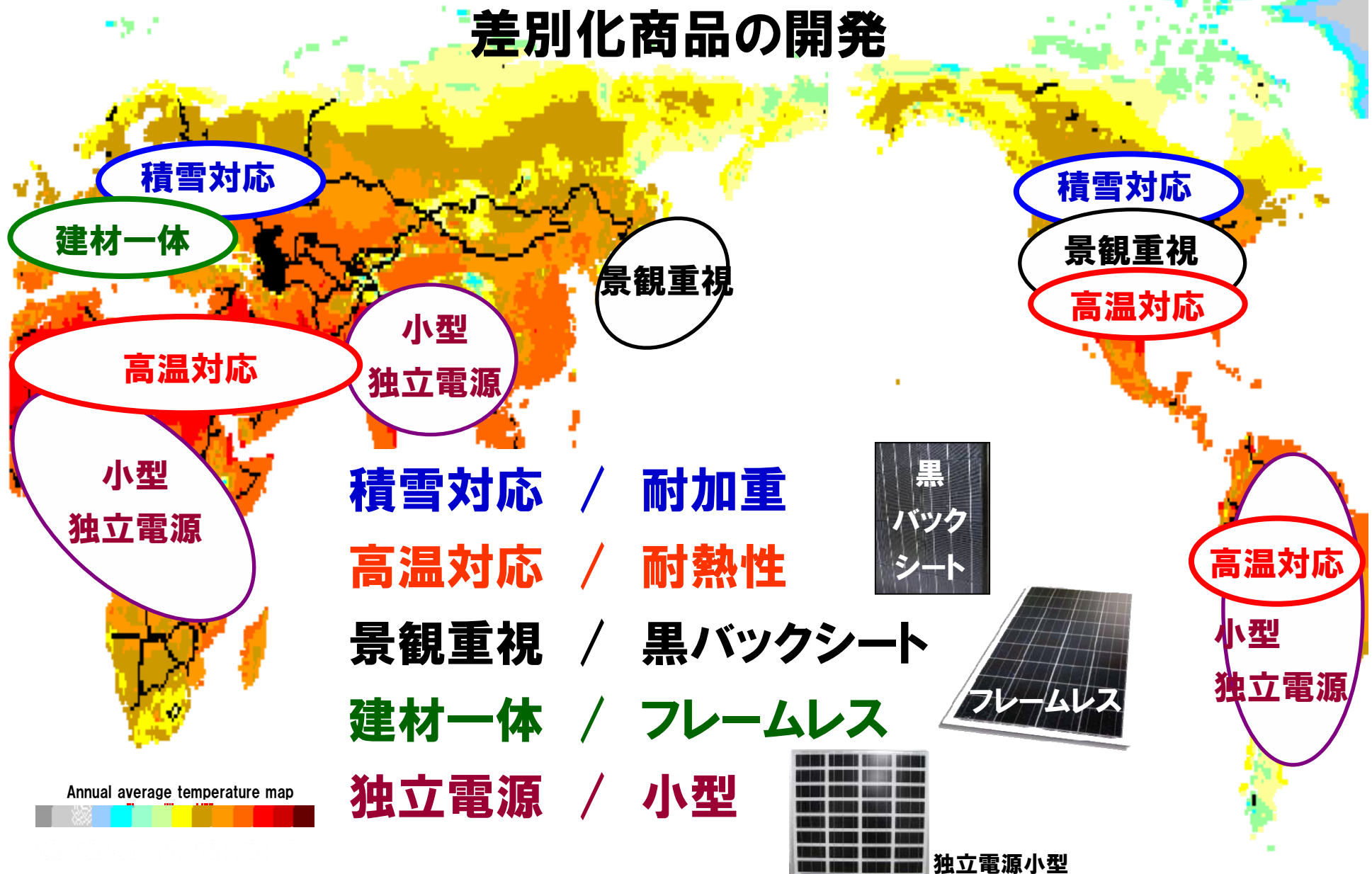
## 1. 素子効率向上



## 2. 薄型化



# 差別化商品の開発



# 品質力

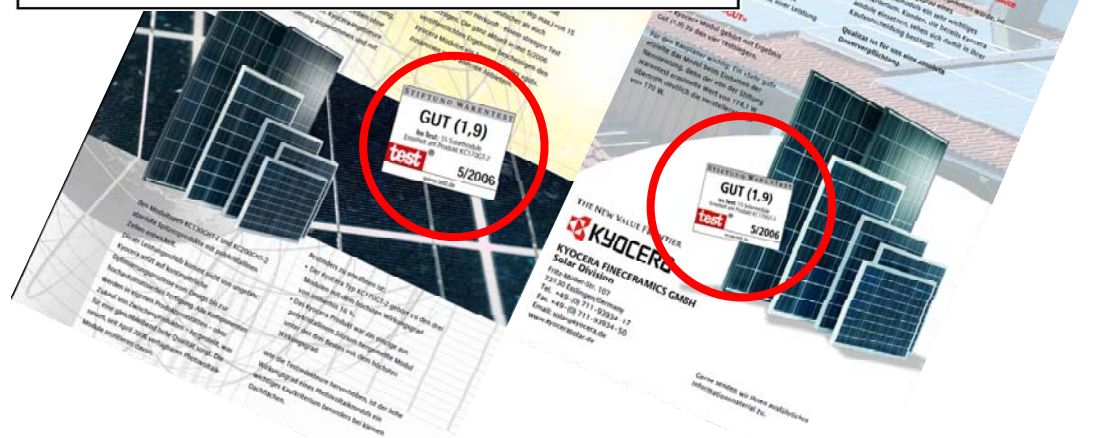
## 一般消費財テスト（ドイツ）にて最高評価！



**品質 総合1位**  
 メーカー数：15社  
**Good Point 1.9**  
 (1.0=Good, 6.0=No Good)

### 【評価項目】

- 発電能力
- 耐久性
- 信頼性
- 施工性



品質が“差別化”最大のポイント → 「品質の京セラ」

チェコ

中国

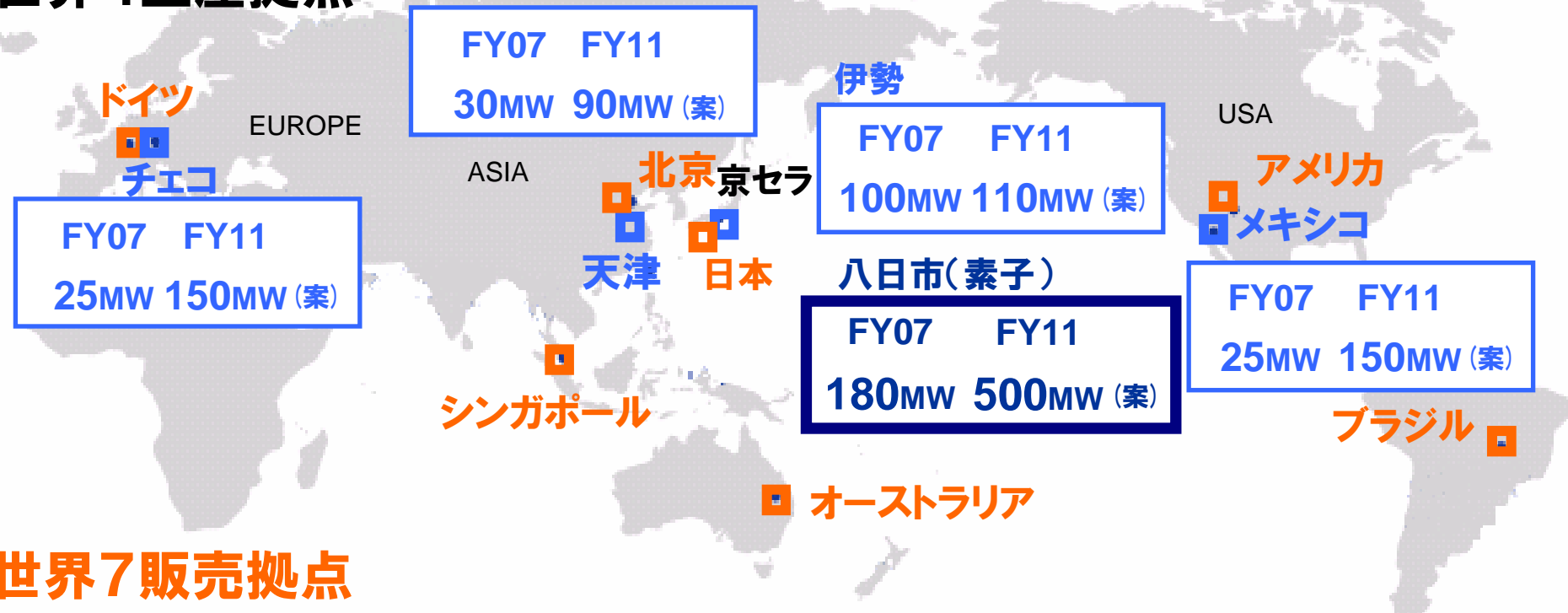
日本 / 伊勢

日本 / 八日市

メキシコ



## 世界4生産拠点



## 世界7販売拠点



ドイツ

シンガポール

中国

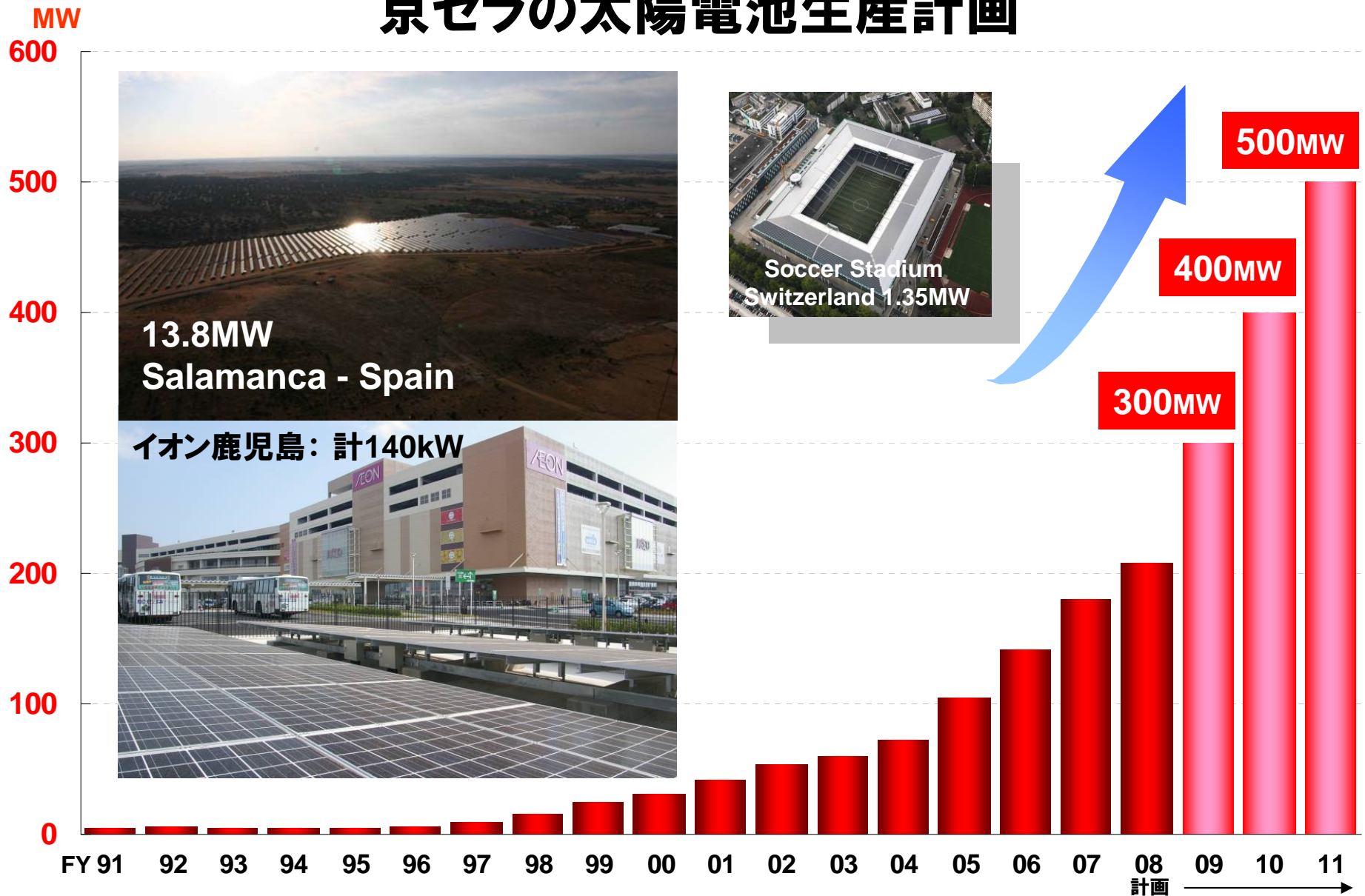
日本

アメリカ

ブラジル

オーストラリア

# 京セラの太陽電池生産計画



## 当該資料に関する注意事項

2007年3月期に、ファイナンス事業を行う当社子会社であった京セラリーシング（株）を売却したことにより、京セラリーシング（株）に関わる営業成績及び売却益の合計額を、米国会計基準に従い、非継続事業の損益としています。この売却に伴い、2003年3月期から2006年3月期までの実績値についても同様の基準で一部組み替えて表示しています。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社